

製品名: PDGFR ベータ ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87659**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:124 kDa; Observed MW:190 kDa

抗原情報

遺伝子名	PDGFR beta
別名	IMF1; KOGS; IBGC4; JTK12; PDGFR; PENTT; CD140B; PDGFR1; PDGFR-1
遺伝子 ID	5159
SwissProt ID	P09619
免疫原	ヒト PDGFR ベータの合成ペプチド

背景

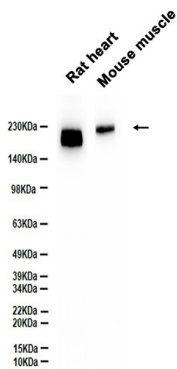
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、血小板由来増殖因子ファミリーのメンバーに対する細胞表面チロシンキナーゼ受容

体です。これらの増殖因子は、間葉系細胞のミトゲンです。受容体モノマーに結合した増殖因子の種類によって、機能的受容体がホモ二量体 (PDGFB または PDGFD) かヘテロ二量体 (PDGFA および PDGFB) かが決まります。この遺伝子は心血管系の正常な発達に不可欠であり、アクチン細胞骨格の再編成を促進します。この遺伝子は、5 番染色体上で顆粒球マクロファージコロニー刺激因子遺伝子とマクロファージコロニー刺激因子受容体遺伝子に挟まれており、これら 3 つの遺伝子すべてが 5-q 症候群に關与している可能性があります。5 番染色体と 12 番染色体間の転座により、この遺伝子が ETV6 遺伝子と融合すると、好酸球増多を伴う慢性骨髓増殖性疾患が発生します。[RefSeq 提供、2017 年 8 月]

研究分野

-

画像データ



PDGFR ベータウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ラットの心臓、マウスの筋肉組織からの抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。